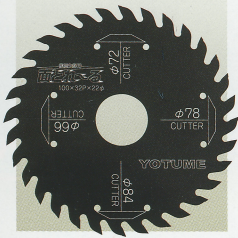


取扱説明書

構成部品

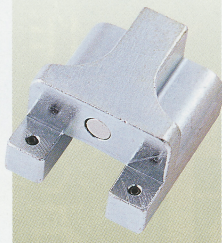
石膏ボード用
チップソー (内径22mm)



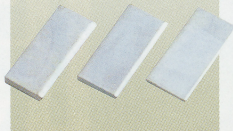
石膏ボード用
面取りカッター
(内径22mm)



切込み深さ
調整治具



面取り巾
調整板 (大中小)



内側フランジ
(ワッシャ)

機種によって
種類有り



外側フランジ
(ワッシャ)

日立C4YC・
C5YB2に使用



日立

マキタ

リョービ

機種

C4YC ※1
C5YB2 ※1
C4YB
C5YC

C4YA1
C4YA2

KS4000FX
KS4100F
KS5000FX
KS5100F
KS5200FX

5034FKB

5044KB
5055FKB
5205FX

NW420ED

適合フランジ



準備中

RIN01

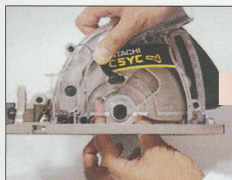
※1...日立 C4YC・C5YB2 は内側・外側フランジのセットでご使用ください。*本製品以外の切断用チップソー、面取り用カッターは使用しないでください。

① 適合部品の選定

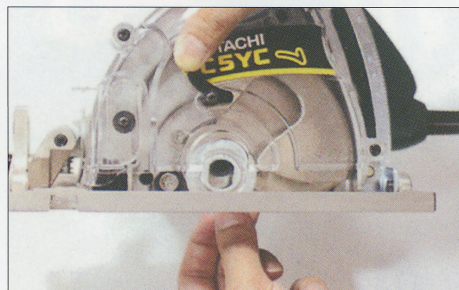
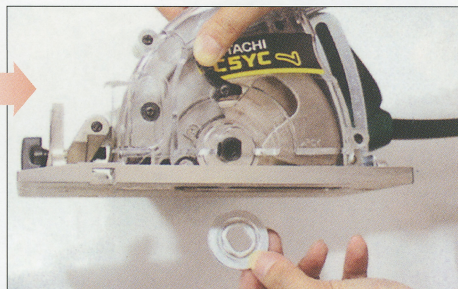
上記構成部品の中から、使用する集塵丸鋸に適合しているものを選ぶ。

⚠ 事故の原因にもなりますので、間違いのないように選んでください。

② フランジの取付け



集塵丸鋸付属の、標準(内側・外側)フランジを外す。



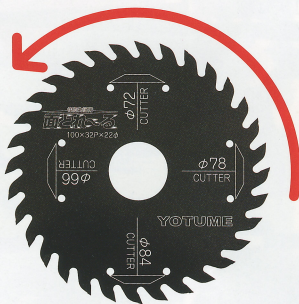
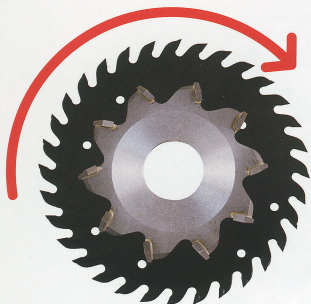
①で選んだ適合フランジを取り付ける。

※使用後は必ず元に戻す。

⚠ 内側フランジは全機種付属のものから、専用の適合フランジと入換えます。日立C4YC・C5YB2は外側フランジも入換えます。

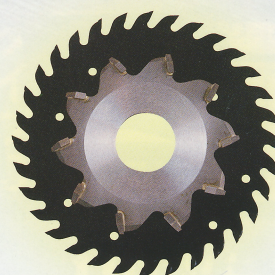
③ 回転方向を確認

使用する集塵丸鋸の回転方向を確認。



実際は面取りカッターが反対面についています。

チップソーは、面取りカッターの台金とチップが平らな方と接するように、取付けられているかご確認ください。



OK!!

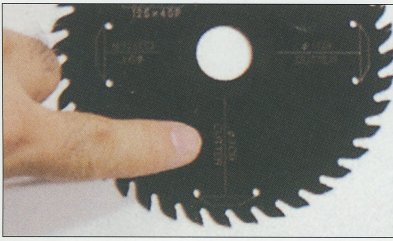


NG!!

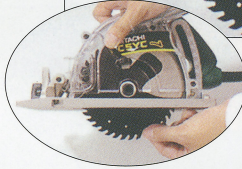
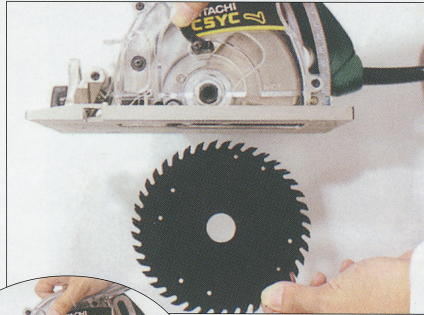
⚠ 使用する集塵丸鋸のコンセントが抜いてあることをご確認ください。電源が絶対に入らないことをご確認ください。

⚠ 事故の原因にもなりますので、間違いのないようご確認ください。

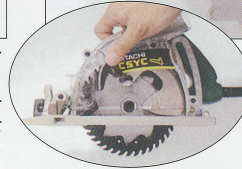
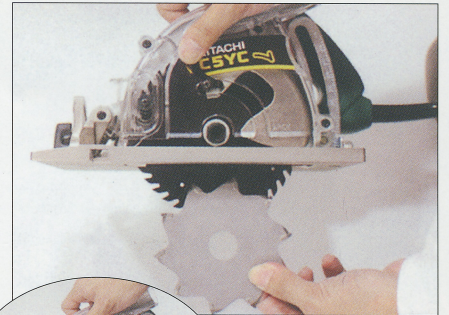
④ 刃物の取付け



- 取付ける面取りカッターのサイズを確認してください。
- 機種によって面取りカッターを先に入れる場合と後に入れる場合があります。

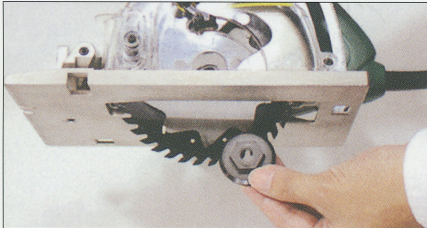


チップソーに表示(取付ける面取りカッターのサイズ)されている治具取付け孔の部分が、ベース下部に出るように取付ける。



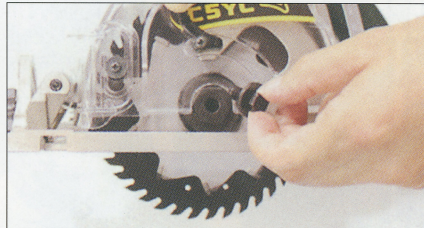
治具取付け孔にからないように面取りカッターを取付ける。

※治具孔と面取りカッター刃の位置は左図参照

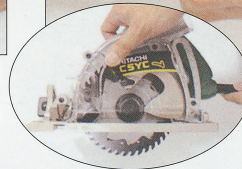
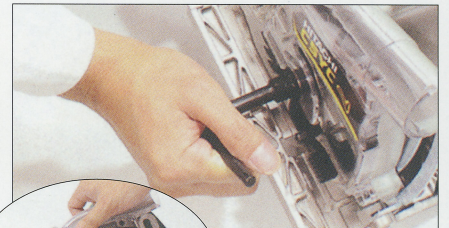


外側フランジを取付ける。

⚠ 外側フランジは集塵丸鋸付属のものを使う機種と、専用の適合フランジを使う機種があります。



固定ボルトを入れる。



固定ボルトをボックススパナでしっかり締める。

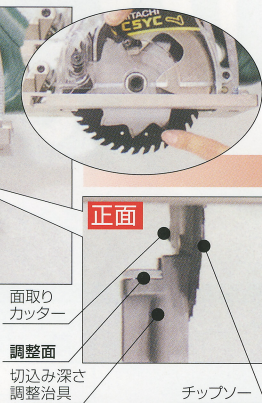
⚠ 使用前にも必ず、集塵丸鋸の刃口やカバーなどと、刃物の隙間が適当に有り、安全を確認し、回転方向と刃物が正確にしっかり取付けられているかもう一度ご確認ください。

⑤ 切込み深さ調整治具の取付け

切込み深さ調整治具を用いて深さを調節。



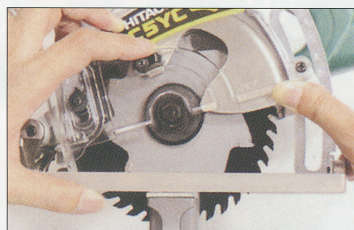
使用する孔(使用する面取りカッターの外径表示部)に、切込み深さ調整治具のピンを合わせて差込セットする。



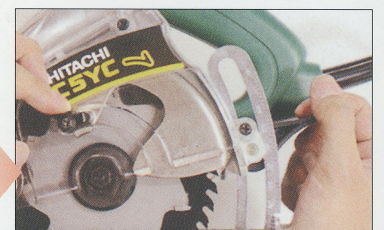
正面

面取りカッター
調整面
切込み深さ調整治具

チップソー



セットされた切込み深さ調整治具の調整面に、集塵丸鋸のベースと調整面全体が接するように合わせる。

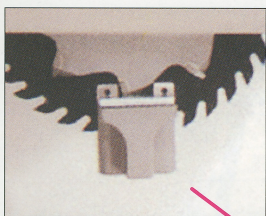


集塵丸鋸のベースと調整面全体が接しているか確認後、集塵丸鋸のベースの固定ねじで固定する。

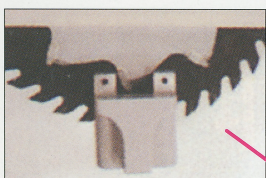
⚠ 事故の原因にもなりますので、切込み深さ調整治具は、必ず外してからご使用ください。

面取り巾を調整

切込み深さ調整治具に付属の、面取り巾調整板を取付けることで、0mm(切断のみ)から3mmの面巾調整が可能。



切込み深さ調整治具の調整面に



何も付けなければ、面取りなしで切断のみの作業が出来ます。

切込み深さを治具なしで調整

面取り基準目盛り^{※2}を利用して切込み深さを確認。

取付けられている、面取り用刃物のサイズが表示された1組の孔を丸鋸の下方(ベースより下方)に合わせ、船底のような形をした、面取り巾基準目盛りが、ベースからどれだけ出ているかで、大体の調整が出来ます。



※2:切断用刃物に表示されている船底のようなマークは面取り巾を表します。

⑥ 最後に

実際に試し切りをし、面取り巾と切断巾をご確認の上、作業に取りかかるようにしてください。

※面取りカッターと加工する石膏ボードの厚みによって加工できる作業に制限がございます。詳しくは裏面を参照ください。

※切込み深さ調整治具・面取り巾基準目盛りは目安としてご使用ください。